

# 月刊やちまなこ

2011.8.15 発行

No. 165

## 8月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



夏でも涼しく霧がかかり、上着が必要な釧路の夏が今までの定説だったが、今年も蒸し暑い日が続き、今月11日には釧路市でも31度を記録した。

24～5度でも熱く感じるのに道産子としては異常と思われるような気温である。全国的に気温は高く、それにともないゲリラ雷雨や高温注意報、熱中症などの言葉をよく聞く。天気の良い日も曇って蒸す日も釧路湿原を散策する際には熱中症対策をお忘れなく。

# コッタロ川と湿原のほとりから

## 134 8月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

冷夏の直撃を受けてすごすごと退散しかけた7月に追い討ちをかけるように秋が、同居を決め込んだコッタロでは、8月を待たずしてコスモスやトリカブト等早々と咲き始めており、今や秋草の花盛りです。

この8月1日に17度目の移住記念日を迎えてみれば、植樹と水辺造りに勤しんだ16年間は夢の様に過ぎ、この地で昔から咲き続ける自生の朝顔を見ていると、“朝顔の紺の彼方の月日かな 波郷”の心境と重なり感動すらおぼえます。

見渡す限り万緑の山もよくよく観ると、幾層にも濃く深く趣を異にしており、庭に拵えたピオトープと共に、多種多様の生物を育てているのも嬉しい限り。その代表例が今季初のノゴマの営巣でした。『さえずる森の宝石』と呼ばれ愛されているのまっ赤なノドから発せられるコロラチューラ・ソプラノの魅惑の高音もさること乍ら、「子育て中」の彼等を間近で観察出来た事と、これ迄滅多に人目に触れさせなかったの愛くるしい表情やパフォーマンスにうっとり。

庭の片隅のカエデと柳、ワタドロの樹の枝葉に見え隠れして虫捕りに



励む に目を奪われっぱなしの2週間でした。中でも巨大フキの葉っぱを舞台に、自分の嘴より太い青虫をくわえたまま尾羽をピッ！と逆立てる珍奇なポーズでのアピールは、ここが無尽蔵の餌場であることを誇っているようではありませんか。只、惜しむらくは、巣立ちに立ち会えず、ヒナノゴマとその数を確認出来なかったことです。



ところで本州以南の秋暑とは、ほとんど御縁の無いこの地では、ベビーラッシュも一段落したエゾ鹿達がポツリポツリと生後二月余り経ったバンビを伴って美味しそうに生え揃った二番草を食んでいる昨今、突如授乳を始めたのには驚かされました。日常見なれた彼等ではありますが、17年目にして初めて観る光景を記念に写しましたので御覧下さい。

## 湿原の住人たち その125

## ミズチドリ

きっぱりとした花の白さが涼やかなミズチドリはランの仲間で、日本各地の湿原や沼のほとりなどに生育します。あるこっと周辺では7～8月に、道道クチョ口原野塘路線沿いの湿地で高さ50～80センチのこの花が、ほかの草木に負けじと遅く咲く姿を目にすることができますが、咲ける環境が減少しているのか、数は少ない印象です。別名ジャコウチドリの由来でもある独特の香気を試してみたいのですが、なぜかいつも、顔を近くに寄せられないような所にひっそり咲いています。



## 7・8月の自然ふれあい行事から

7/16 縄文土器作り



8/13 土器野焼き



8/7 どんぐりカレンダーを作ろう



**7月** 標茶町郷土館学芸員の坪岡始さんを講師に縄文土器作りを開催しました。塘路で採集した粘土をこね、ひも状にした粘土を輪積みして、器の表面に縄や木の枝、貝殻で模様をつけました。自然乾燥させた後、野焼きをして完成しました。 **8月** ミズナラの実に数字を書き、プラ板に食物連鎖でつながる動物とミズナラの葉っぱや冬芽を描き加熱したものを、コルクボードに配置してカレンダーを作りました。写真は、真剣な眼差しで取り組む小学生チームの様子です。

## ネムネムのとうろうろうろ日記 Vol.3 2 「黒は女を美しく見せる？」

6～7月の怒涛のような調査も一段落。毎日フィールド用の長袖シャツを着ることからも解放され、その日は新調した半袖のポロシャツを着て出勤しました（ちなみに女優の長谷川京子が着ていたものと同じデザインです）。

たまたま職場の玄関の軒に作られたスズメバチの巣の撤去作業があり、それを見に行っただのですが、はっと気がつく自分のポロシャツの色は「黒」。フィールドではスズメバチに攻撃されるので、タブーとされている色です。あわててその場を離れたのですが、案の定ハチがしつこく追いかけてきます。商売上、騒ぐわけにも刺されるわけにもいかず、あくまでもさりげなく逃げて、さりげなく裏のトイレの通用口から職場に戻りました。しかしその日は職場の外に出るたびに、スズメバチにまとわりつかれました。

「黒は女を美しく見せる」といいますが、せっかく新しい黒い服を着ても、寄ってきたのがスズメバチとは、ちょっと切なかったです。

辻 ねむ（標茶町郷土館学芸員）

8がつ 5にち

ばしょ とうろ



36歳独身。まとわりつく「虫」は蚊とブヨとスズメバチばかりか？

# 9月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

## 針灸写真講座

[日時] 9/3 (土) 10:00 ~ 15:00

[定員・材料費] 8名・500円

[場所] 塘路湖EMCレクチャールームと周辺

[持ち物] 時計、手拭きタオル、30センチ定規、エプロン、昼食

## バードカーピング展 [日時] 8/21(日)まで [場所] 塘路湖EMCレクチャールーム

\* 2010年度バードカーピング講座受講生と講師の作品展です。入場無料。

お申し込み お問い合わせは 塘路湖エコミュージアムセンターまで 015-487-3003

## 初秋の湿原花ハイク [日時] 9/4(日) 10:00 ~ 12:00

お申し込み お問い合わせは 温根内ビジターセンターまで 0154-65-2323

## 塘路湖・シラルト湖・コッタ湖湿原周辺の自然情報

【植物】(7/16)ヒロハヒルガオ・ミズチドリ・ハシドイ・オオウバユリ・アラゲハンゴンソウ・シベリアシオガマ  
(7/17)ドクゼリ・イケマ・オニノヤガラ (7/18)カワミドリ・ダイコンソウ・ヤマグワの実・ノリウツギ・キツリフネ  
(7/29)エゾヤマハギ・オニユリ (8/1)エゾミソハギ・クサレダマ・カセンソウ・エゾシロネ (8/2)オオハンゴンソウ  
(8/7)ヤナギラン・ツリガネニンジン・ハナガサギク (8/12)サラシナショウマ・クルマバナ・エゾトリカブト・オニグルミの実  
(8/14)ヒシ・ウスバヤブマメ・ネジバナ

【鳥】(7/16)マガモ・ヨシガモ・アオサギ (7/20)アカエリカイツブリ (7/22)ヤブサメ (7/25)タンチョウ親子  
(7/26)オジロワシ (8/6)オオハクチョウ (8/9)ハリオアマツバメ (8/12)コヨシキリ

【その他】(7/16)エゾシカ (7/17)エゾタヌキの死骸 (7/18)ヒメウラナミジャノメ・ミドリヒョウモン・フタスジチョウ・カラスアゲハ・エゾスジグロシロチョウ・コエゾゼミの声・オバポタル (7/22)カラカネイトトンボ  
(7/25)クロイトトンボ・エゾイトトンボ・シオカラトンボ (7/26)ミンク・ヘイケポタル (7/30)クジャクチョウ・アカマダラ夏型・モンスズメバチ・アオハナムグリ (8/4)ルリボシヤンマ (8/14)キタイトトンボ・モンキチョウ・ウラギンヒョウモン・エゾシマリス

8月17日水曜日は夏期水曜開館の最終日です。みなさまのお越しをお待ちしています。

日出・日入時間 8/15(4:27, 18:26)・8/31(4:45, 18:00)・9/15(5:01, 17:34)



水草を食むエゾシカ(7/30 塘路湖)

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:[emc@hokkai.or.jp](mailto:emc@hokkai.or.jp)

開館時間 10:00 ~ 17:00 (11月~3月は16:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日~1月3日 入館無料